

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【公表番号】特表 2007-528023 (P2007-528023A)

【公表日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【年通号数】公開・登録公報 2007-038

【出願番号】特願 2006-547241 (P2006-547241)

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/18 (2006.01)

H 0 4 N 9/31 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/18 Z

H 0 4 N 9/31 Z

G 0 3 B 21/00 Z

G 0 2 B 26/10 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を投影するための配列であって、

該配列は、

レーザービームを生成するレーザー供給源と、

該レーザービームを第 1 の走査レートで掃引することにより、第 1 の方向に沿って配置された複数のピクセルを有する走査線を生成するスキャナであって、該第 1 の方向に直交する第 2 の方向に沿って該走査線を第 2 の走査レートで掃引することにより、投影面に走査線のラスタパターンを生成するスキャナと、

該レーザー供給源に加圧して、該走査線上の選択されたピクセルを照らすことにより、該投影面上に該画像を形成するコントローラであって、掃引中に、該スキャナを制御して、該走査レートのうちの少なくとも 1 つを変更することにより、該投影面上の異なるピクセル解像度の複数の画像領域を形成するコントローラと

を備えている、配列。

【請求項 2】

前記レーザー供給源は、レーザーであり、

前記スキャナは、前記コントローラによって前記第 1 の走査レートで駆動される第 1 の振動可能走査ミラーと、該コントローラによって前記第 2 の走査レートで駆動される第 2 の振動可能走査ミラーとを含んでおり、該第 1 の走査レートと該第 2 の走査レートとは異なる、請求項 1 に記載の配列。

【請求項 3】

前記レーザー供給源は、結合されて前記レーザービームを形成する複数の成分ビームをそれぞれ生成する複数のレーザーを含んでおり、

前記スキャナは、前記コントローラによって前記第 1 の走査レートで駆動される第 1 の

振動可能走査ミラーと、該コントローラによって前記第 2 の走査レートで駆動される第 2 の振動可能走査ミラーとを含んでおり、該第 1 の走査レートと該第 2 の走査レートとは異なる、請求項 1 に記載の配列。

【請求項 4】

前記コントローラは、前記スキャナを制御して、共通面にある別個の領域であって、相互に離間している別個の領域として、前記投影面上に前記複数の画像領域を形成するように作用する、請求項 1 に記載の配列。

【請求項 5】

前記投影面は、単一のスクリーンである、請求項 4 に記載の配列。

【請求項 6】

前記投影面は、複数のスクリーンである、請求項 4 に記載の配列。

【請求項 7】

前記コントローラは、前記スキャナを制御して、交差する複数の面にある別個の領域であって、相互に離間している別個の領域として、前記投影面上に前記複数の画像領域を形成するように作用する、請求項 1 に記載の配列。

【請求項 8】

前記スキャナは、前記レーザービームを走査角度にわたって掃引することにより、長さの次元を有する前記走査線を生成し、前記コントローラは、該スキャナを制御することにより、該走査角度を変更し、該走査線の該長さの次元を変化させるように作用する、請求項 1 に記載の配列。

【請求項 9】

前記コントローラは、前記スキャナを制御して、平行な複数の面にある別個の領域として、前記複数の画像領域を形成するように作用し、該複数の面のうちの 1 つの面は、該複数の面のうちの他の面よりも前記レーザー供給源に近い、請求項 1 に記載の配列。

【請求項 10】

前記複数の画像領域のうちの 1 つの画像領域は、キーボードを描写し、該複数の画像領域のうちの別の画像領域は、グラフィカルユーザーインタフェースを描写する、請求項 1 に記載の配列。